

2025年4月2日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

Brookfield とのコンテナリース事業への参入について

三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：橘 正喜、以下「SMFL」）は、グローバルインフラファンドである Brookfield Corporation（グループを総称して、以下「Brookfield」）傘下のコンテナリース最大手、Triton International Limited（以下「Triton」）が保有する資産の取得を目的に、Brookfield と合併会社を設立し、コンテナリース事業へ参入したことをお知らせします。

Brookfield は、運用資産が1兆米ドルを超える世界有数の投資会社であり、インフラストラクチャー、再生可能エネルギー、不動産、プライベートエクイティなど幅広い分野で投資実績を有します。Triton は、世界47ヵ国でコンテナリース事業を展開しており、保有コンテナ数は700万TEU※を超え、圧倒的な事業規模とグローバルネットワークを有しています。

今般、SMFL は、合併会社を通じて、Triton が保有するコンテナリース資産の一部を取得しました。また、業界トップ企業である Brookfield および Triton とパートナーシップ契約を締結し、コンテナリース事業へ本格的に参入しました。

コンテナリース業界は、貿易拡大による輸送用コンテナの需要増加、e コマースの台頭、サプライチェーンの柔軟性確保の必要性などから、今後も持続的かつ安定的な成長が見込まれています。SMFL は、グローバルで流動性が高く、価値が比較的安定しているアセット（グローバルアセット）を対象に、これまで航空機リース、ヘリコプターリース、エンジンリースなどの事業に参入してきました。コンテナリース事業への参入により、新たな収益基盤を構築するとともに、SMFL グループの事業ポートフォリオの多様化を図ります。

SMFL は、Brookfield および Triton との強力なパートナーシップと、両社が持つグローバルなプラットフォームを活用し、新たなコアビジネスの創造に取り組んでいきます。

※ TEU（Twenty-foot Equivalent Unit）

20フィートコンテナ1本を1単位とする換算単位

